

ミカン生育情報

千葉県
平成 23 年 8 月号

平成 23 年 7 月の気象

平均気温は、第 1～第 4 半旬は平年より 1.9～2.8℃高かった。第 5、6 半旬は平年より低く、第 5 半旬は 2.7℃、第 6 半旬は 1.1℃低かった。月平均気温は 25.7℃で平年の 24.3℃より 1.4℃高かった。

本年度の関東地方の梅雨明けは 7 月 9 日ごろで平年より 12 日早かった。降水量は第 4 半旬を除く他の 5 半旬では平年より少なく、第 3 半旬の降水量は 0mm であった。第 4 旬では平年よりやや多かった。月合計降水量は 100mm で平年より 93mm (48%) 少なかった。

日照時間は、第 1～第 5 半旬は多く、平年の 252% (第 3 半旬)～103% (第 5 半旬) であった。第 6 半旬は少なく、平年の 14% であった。月合計日照時間は 193 時間で平年より 18 時間 (10%) 多かった。

表 1 平成 23 年 7 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温 °C		降水量 mm		日照時間 hr	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	25.3	22.5	28	36	28	21
2	25.3	23.2	29	45	34	23
3	26.4	24.3	0	38	63	25
4	26.5	24.6	33	24	29	28
5	22.3	25.0	9	26	34	33
6	24.6	25.7	2	25	6	44
平均/合計	25.7	24.3	100	193	193	175

果実及び樹の生育

産地及び暖地園芸研究所における本年度の温州ミカンの着果量は早生温州、普通温州とも昨年より多くなっているが、園地や樹によるバラツキがあった。現地では、生理落果がやや多かった。

7 月下旬における各調査地の果実の生育を表 2 に示した。早生温州は横径、縦径の平年比がそれぞれ 92、94 % で平年を下回っていた。普通温州は横径、縦径とも 97% で平年よりやや下回った。また、川野夏柑は、横径が 85%、縦径が 88% で平年を下回った。

病虫害ではミカンハモグリガの発生が多く、ミカンハダニ、そうか病の発生がやや多くなっている。

表2 果実の生育（平成23年7月27日）

No.	種類・品種	調査地	横径 (cm)	縦径 (cm)
1	興津早生	三 芳	3.4 (89)	3.1 (92)
2		千 倉	3.6 (91)	3.4 (94)
3		暖地園研	3.7 (95)	3.4 (97)
4	大津4号	三 芳	3.7 (101)	3.2 (101)
5		千 倉	3.8 (100)	3.2 (99)
6		暖地園研	3.3 (93)	2.8 (95)
7	青島温州	三 芳	3.4 (93)	3.0 (94)
8		千 倉	3.6 (97)	3.2 (99)
9		暖地園研	3.5 (98)	3.0 (96)
10	川野夏柑	暖地園研	4.0 (85)	3.9 (88)
	平均*	早生温州	3.6 (92)	3.3 (94)
		普通温州	3.6 (97)	3.1 (97)

() の数字は平年値（平成6～22年の平均）を100とした比数

*早生温州：No.1～3の平均、普通温州：No.4～9の平均

8～9月の栽培管理

摘果 本年の着果はやや多く、園地や樹によるバラツキがあり、それぞれの樹にあった摘果対応が必要である。8月に早生温州の仕上げ摘果、9月に早生温州の樹上選果及び普通温州の仕上げ摘果を行う。仕上げ摘果は果実の大きさや外観、品質をそろえるための作業で、適正葉果比（早生温州では30葉に1果、普通温州では25葉に1果）に近づけるようにする。

病害虫の防除

温州ミカン ミカンハダニは気温が低下し始める8月下旬以降に増殖する。この時期の加害は果実の外観を悪くするため、収穫期まで発生に注意し防除を行う。防除の目安は、寄生葉率20%（葉10枚のうち2枚にハダニが寄生している状態）である。

ミカンハモグリガは夏枝の発芽初期の防除が大切であるので、防除時期が遅れないように注意する。

中晩生カンキツ類 9～10月はミカンハダニの発生に注意し、防除を行う。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話 0470-22-2961
果樹の生育情報は千葉県ホームページ「農林水産業」の「生育情報」でもご覧いただけます。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>